

のぼのばかわら版

N8051内装くんG^{ガイド}
大サイズ

当社の隠れたヒット商品。

長〜い間、売れ続けています。

なんでもっと早く作らなかつた
んでしよう大サイズ。

29センチの発売です。

自分で言うのも変ですが、発売
当時に考えたキャッチフレーズが
うまかつたですね。

内装作業に最適!

床をキズつけない!汚さない!

上履き仕様の「まっ白作業靴」

滑りにくい白底使用

テンポの良い読みやすい文章や
「仕様」と「使用」をひっかけた
あたりはコピーライターが作った
みたい。ネーミングも良かった。
20足入りのケースでのご注文も
あります。

プラスチック先芯入りの簡易な
作業靴です。

「布製靴で業界トップになる!」

と号令をかけた頃の発売です。

もちろん、先芯は入れていない

「N805内装くん」も人気です。

本当に売れますよ。

30センチも必要だったかなあ。

チラシ参照お願いします。

Ti703 Ti704

人工皮革の皮手袋の新製品です。

メーカーが独自開発した新素材

「マットクリート」を採用。

細かな凹凸がグリップ力を高め
かつ強度を保ちながらも柔軟性に
優れています。スゴッ!

甲部分は通気性と柔軟性のある

素地に特殊コーティング。

従来の人工皮革に比べ、火花の

飛び交う現場にも燃えにくい性能

を持っていきます。

是非お取り扱いを!



チラシ同封しています。

シューズカバー

雨対策に、靴、ズボンの上から

履ける足カバーを始めました。

コンパクトにまとまりますので
いつでもどこでも持ち歩けます。

1組から出荷OKです。 **チラシあり**

アトム1270-3P

「耐油ニトリル3双組」

ニトリルのオールコート手袋を

よりお買い求めしやす
い価格にしました。

チラシご覧ください。



発行者 (株)のほのほ
〒246-0001 仕事を楽しくする作業用品の企画販売会社
神奈川県横浜市瀬谷区卸本町9279-37
TEL 045-921-3561 FAX 045-921-5337
<http://www.yetian.com/>
毎月20日発行 第379号

アシックス新色、新製品

★CP202

売れ筋に新色です

501 ジェントリパープル

×ブライトイエロー

★CP207

300 マントルグリーン

×ホワイト

★CP213TS

薄型ソールを採用した新製品

通気性の良い、メッシュ素材の

アッパーに、履き口をニットに

400 デイープシーテイル

×グロイーエロー

600 ファイアリーレッド

×ホワイト

020 グラシアグレーx

×ピエドモントグレー

改行はすごく気を使って文章を
作っていますが、カラー名が複雑
になるとドキドキします。

働くのばちゃん Vol. 379

商品管理の千葉です!
今月号で文章の書き方
など、ずいぶん社長は
威張っていますね
千葉です!

営業の鈴木主任だが
かわら版が読みやすい
のは本当だからなあ
くそう

山元です
こうなったら
僕は声の大き
さで勝負します!

自分、は、改
行に気をつけ、て話
をする様、にし
ます
ダメだと思っ、
四カ国語話せますが

以前も書いていますが、かわら版を作る時に一番気をつけているのは「改行」です 繋がった言葉なら出来る限り
同じ行に書く様に文章を変えています 読みやすさは確実に違います
冒頭で自慢している「N8051」に続き自慢です 嫌われそうです、、、

〇〇ちゃん

先日「のぼお」は、ズル休みを
しました。

正確に言うと、午前中は仕事を
して、皆さんに知られないように
外出して、そのまま帰らなかった
のです！

保土ヶ谷バイパスで横浜方面へ
進み、普通なら左車線に入って、
首都高に乗るのですが、おやおや
直進です。

横横で、逗子まで行ってしまい
ました。

若い頃は、マリンスポーツ少年
だった「のぼお」は海を懐かしい
目で見ながら、鎌倉方面へと進み
ました。

逗子海岸↓材木座↓由比ヶ浜↓
稲村ヶ崎↓七里ヶ浜↓江ノ島、、
結局、平塚まで行ってしまいました。
た。

やっと見つけた小さな駐車場に
車を停めて浜まで歩いて行きまし
た。

「うわあ、久しぶりに海を見たな
あ」

さつきから見てるのに心の中で
呟きました。

海開きはまだですし、平日です
から、浜にはほとんど人はいませ
ん。

少し離れた所に、小さな子供と
両親らしい三人くらいです。

なんかいいなあ、、、

奥さんに「裸足になって地球に
踏ん張るようになるといいですよ
と、先生のような口調で言われて
いたのを思い出しました。

指示に従い裸足になりましたが
どうせならと、裸になりました。

暑くも寒くもない、良いお天気
でしたのでゴロゴロする事にした
のです。

日々の疲れが出たのか、一瞬の
うちに爆睡してしまいました。

「ハッ」と、起きてみると周囲は
カラスだらけでしたが、もう少し
だけ寝ていたくなりました。

少しすると、あっちにいた親子
三人が歩いてきました。

そして事件が起こったのです。

父親みたいなのが

「〇〇ちゃん、駐車場に行ったら
足を綺麗に洗おうね」

「うん」

「〇〇ちゃん、あれ、何して〜ん
だ？」

「あれの事？ リラックス〜」

〇〇ちゃん
あれ、何やってんだ〜？
リラックス〜

あのタコ
日焼けでもしてんだろ



おいおい「リラックス〜」って
答える小さな子供もすごいけど、
他人の事「あれ」って言うかな？

実は「のぼお」は薄目を開けて
いたので、指さして話をしている
のを知っていたのです。

子供がいる年齢だろ！
すると父親みたいなのが

「違うよ、日焼けでもしてんだろ
と言ったのです。」

「コレは一体どういう事なのか？
小さな子供は、大人びた良い感じ
の返事をするのに、父親みたい
なのはまるで自分をバカにしてい
みたいだ」

こんな状況になったのは生まれ
て初めての事だったので、どうし
ていいのかわからなくなりました。
もちろん、この歳ですから相手
に食ってかかるような事はしませ
んでしたが、、、

少しして「自分も帰ろう、、、」
あっ！

なんと、その父親みたいな奴ら
は、同じ駐車場だったのです。

子供が「リラックスしていた人
が来た〜」とは言いませんでした。
父親みたいなのも、何も気がつ
かなかったようです。

「のぼお」は分かりました。

「自分は、どっちかって言ったら
やられた方、あっちはどっちかと
言ったらやられた方」

「やられた方はよく覚えてるけど、
やった方は覚えてない」それだ。

「自分が、悪気もなく言った言葉、
何気なくやった行動が実は相手に
とっては傷つく事もあるんだ」

「コレは商売、仕事にも通づる所
がある」

この歳になって、また一つ学ん
だ「のぼお」は「真夏になっても
取引先の人に日焼けしている事は
触れないようにしよう」と心に刻
んだのです。